

プレスリリース

配布先：文部科学記者会、科学記者会、各社社会部・科学部

2018年3月26日

早稲田大学

株式会社 DMM.com ラボ

早稲田大学理工学術院と DMM.com ラボが共同研究室「早稲田・DMM AI ラボ」を設立 - 最先端AI基盤の開発と実践的応用に関する共同研究を開始 -

早稲田大学理工学術院総合研究所（東京都新宿区、所長：木野 邦器 教授）と株式会社 DMM.com ラボ（本社：東京都港区、代表取締役社長 片桐孝憲 <http://www.dmm.com/> 以下 DMM.com ラボ）は理工学術院総合研究所 最先端 ICT 研究所内に共同研究室「早稲田・DMM AI ラボ」を4月1日に開設し、最先端 AI 基盤の開発と実践的応用に関する研究を開始いたします。



WASEDA
University

DMM.com

昨今、わが国ではデータ関連技術、すなわち AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等が急速に発展する中で、高度なデータを取り扱うことが必須となっています。そのような中、エンターテインメントの領域でも AR、VR、AI などのテクノロジーが活用され、これまでにない体験が続々と誕生しています。

早稲田大学理工学術院総合研究所 最先端 ICT 基盤研究所では、機械学習、ディープラーニング、量子アニーリング（物理現象を利用した組み合わせ最適化のアプローチ）など様々な AI 基盤技術の研究・開発を行っています。

DMM.com ラボではこれまで大規模 Web 開発の経験をビジネスに活かし、多様なサービスを開発してきました。昨今では Web 開発にとどまらずビッグデータ解析や IoT などの分野でも幅広く技術研究を行っています。

本共同研究では、最先端 ICT 基盤研究所で開発する最先端 AI 基盤を用い、人の経験、感覚に依存する業務領域を、機械学習、ディープラーニング、量子アニーリングなどの技術を用いて代替し、効率化、定量化します。具体的には、レコメンド、不正取引検知、金融取引、品質保証（QA）、画像認識などへの応用を目的としています。最先端 ICT 基盤研究所では、本共同研究を通して、ビッグデータを扱う上でのノウハウを蓄積すると共に、

基礎研究に留まることなく実社会への応用を目指します。DMM.com ラボはグループ会社と協力して、この技術を既存事業の人の経験・感覚に依存した業務領域に向けて活用することで、ユーザーに提供できるサービス品質向上を通じた、革新的なユーザー体験を提供していきます。

■ 早稲田大学理工学術院総合研究所 最先端 ICT 基盤研究所

早稲田大学理工学術院は、Waseda Vision150 に伴う研究・教育の国際化の推進に合わせ、7つの重点研究領域を新たに設置しました。「最先端 ICT 基盤研究所」は、上記重点研究領域の一つとして、情報理工・情報通信専攻を中心とする情報系教員が集結し、未来の超スマート社会を支える最先端の ICT 基盤技術に関する研究開発を進めています。

URL) <https://www.waseda.jp/fsci/wise/initiatives/a-ict/>

■ 株式会社 DMM.com ラボ

株式会社 DMM.com ラボは、総合エンターテイメントサイトのシステム開発からマーケティング、フルフィルメント、カスタマーサポートなどのサイト構築・運用を一手に担う企業です。

<メディア関係者お問い合わせ先>

【機関に関するお問合せ】

早稲田大学広報室広報課

MAIL : koho@list.waseda.jp

【早稲田・DMM AI ラボに関するお問合せ】

早稲田大学理工学術院総合研究所 最先端 ICT 研究所

MAIL : waseda-dmm@list.waseda.jp

DMM.com ラボ 担当 座間味

MAIL : ai-info@dmm.com